

あんしん・あんぜん・元気なてらやつ 広報第9号

寺谷小域福祉ネットワークだより

編集・発行

発行責任者：熊坂 竜介

問合せ先：「なのはな館」

電話：92-1481

資源回収実績に**黄色点滅**混ぜればごみ 分ければ資源
使ってこそリサイクル

分別収集にご協力を！

1. 資源回収は小域福祉ネットワークの重要な活動財源

昨年度の小域ネット予算収入は約130万円。その内、資源回収収益金の占める割合は80%です。この事業収入を得て、各種事業へ取り組みが可能となり、いまや当事業は、寺谷小域福祉ネットワークの重要な活動であり、そして誇れる事業です。

2. 各団体への活動助成

昨年、収益金の92%は各団体活動を支援する助成金として、交付しています。

(資源回収収益金は、各町会・自治会、PTA・子ども会の活動を支援するため助成金を支給しています。

令和3年度の支給額は、1世帯当たり600円、子ども会1人800円、PTAは子ども会と同額です。)

3. 資源回収事業の現状

昨年同期との比較で、回収量は1,000キロの減、収益金は1,500円の増額(但し昨年は5月分未実施)ですが、収集品目の中で特に減少が続いているのは、「紙類」であり、中でも単価の高い(kg/5円)「古新聞」が目立ちます。業者買い取りの増額は、“重さ”で稼ぎたいところです。

4. 活動助成金減額の検討か！

コロナ禍の状況下皆様の活動に感謝申し上げます。

表題の『黄色点滅』とは、実績の右肩下がりと共に

収益金の減額が続き、このまま回復傾向が見られない場合は、収益金を超える支出はできませんので、再度の“活動助成金減額”を検討せざるを得なくなります。

今年度の予定はあと3回です。今後とも資源回収事業を地域の皆様で支えていただき、一層のご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。



資源回収推進班：大鐘 豊



小勝山団地自治会



寺谷町会



西国吉台自治会



吉野台自治会



集積場:分校跡地

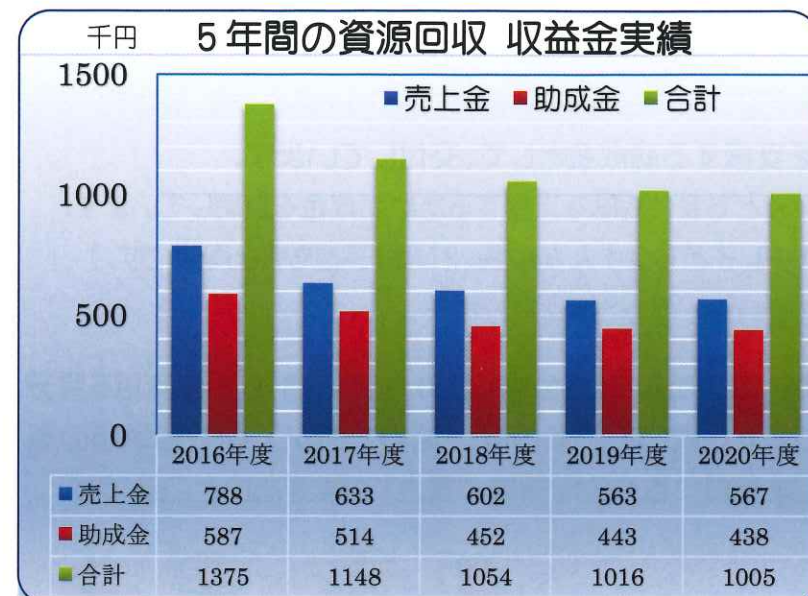
資源回収 収益金実績報告...資源物の回収は私たちの手で

寺谷小学校区小域福祉ネットワーク事業で各町会・自治会・PTA・こども会の積極的な参加協力のもと、「小域福祉事業の財源確保」「ゴミの減量化」「地域の連携」などを継続的に実施し、資源回収推進活動事業に大きな成果をあげられたこと、深く感謝いたします。

資源回収は、資源の保護やゴミの削減になるばかりでなく、「物を大切に作る心」を育み、「地域のコミュニティ作り」「収益金の有効利用」が期待でき、市のゴミ処理費用の削減にも寄与します。資源として活用する「再生資源活動」にこれからもご協力をお願いします。

下グラフは、5年間の資源回収収益金実績を表しています。売上金・助成金を合計した金額が、5年前の137万円から100万円を割り込もうと大きく減少しています。

皆さんへのお願い 毎週金曜日に市で実施する資源回収に出さず、自宅で保管していただき、各町会・自治会で実施する資源回収日(第1日曜日)に出すようご協力をお願いします。



各町会・自治会で集められた資源



[収益金を寺谷の福祉へ...皆さんの協力が不可欠です]

「あんしんカード」の準備はできていますか？

寺谷小学校区内全世帯に安心生活見守り支援事業として、配布いたしました「あんしんカード」の準備はできていますか？ まだなら直ぐに実行しましょう！

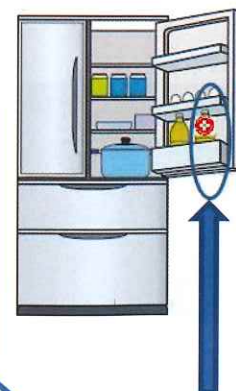
透明な容器にいれて冷蔵庫内に保管しましょう。

筒形の容器に医療情報を入れることにより、緊急時(119番出動)に本人等が病状など説明できない場合、救急隊が保管された情報をもとに、関係機関などと連絡・連携し、迅速な救急処置などに役立てます。

安全と安心は冷蔵庫の中から

あんしん医療カード

No.	氏名(フリガナ)	性別	生年月日	血液型	保険番号	救急連絡先(家族・近所)
1	寺谷 清	男	1950年4月29日	A	050-6149-1946	(ある) (無ければ記入してください)
2	寺谷 子	女	1957年4月25日	O	090-1234-5678	(ある) (無ければ記入してください)



保険証(写)

診察券(写)

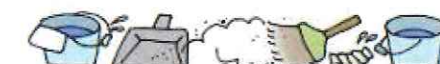


寺谷分校跡地の草刈りをしました

毎月行われ回収された資源物(缶、ペットボトル、瓶)の集積場所として使用している寺谷分校跡地に1mを超えた雑草、周辺の竹・ツタなどの刈り取りが、寺谷地区町会と寺谷小域福祉ネットワーク合同で9月26日(日)に寺谷地区の各町会、自治会から24名と多数の協力者が集い実施しました。皆さん草刈りのベテランばかりで、予定時間の半分程で終了しました。寺谷地区会長をはじめ各町会、自治会の協力者の皆さんありがとうございました。



寺谷町会大宮神社の美化活動



この都度の町会奉仕活動は、寺谷町会大宮神社の清掃活動を紹介します。境内の美化活動は、「宮薙ぎ」と称し年1回の『草刈り』と毎月1回(12月は2回)の『掃き掃除』を集会所とあわせて、34名を5班に分け輪番体制で第1日曜日の朝8時から行っています。

現在は町会行事ですが、以前は老人クラブの皆さんで行われていました。当日、私たち第3班は7名で、集会所と社殿周囲に分かれ、町会で用意されている熊手・ほうきを手に、社殿の担当は、急坂な石段70段を息を切らせて上り、社殿に軽く手を合わせた後、それぞれ四方に別れ草取り、掃き掃除、下りながらの石段掃き等が手際よく行われました。

清掃中はたわい無い会話をしながら約40分で終わりましたが、懸念されることそれは、我が町会も更なる少子高齢化の波が間違いなく来ます...将来をト考えてしまいます...



寺谷町会 第3班:大鐘 豊

小勝山団地フリーマーケット開催

小勝山団地のフリーマーケット「おかちやま〜けっと」は、新型コロナでサークル活動や行事が中止になり、「ずっと笑っていない」という一人暮らしの高齢者の方の声に、「笑顔を取り戻そう」と、落語会をメインに令和2年12月からスタートしました。

第2回「おかちやま〜けっと」は、音楽ライブを企画。団地内に留まらず、近隣にお住まいの方の手作り品や野菜、カフェやパン屋の出張販売、ハンドメイド作家のアクセサリー出店などと盛りだくさんで賑わいました。



小勝山団地フリーマーケット実行委員会:高垣知子

市子連戸田支部の活動紹介

市子連戸田支部の正式名称は「市原市子ども会育成会連絡協議会戸田支部」です。組織的には全子連、県子連、市子連には各支部があり最後に単位子ども会があります。



市子連の目的は市原市内の子ども会育成会が、この会を通じて相互連絡、調整、研修ならびに親睦の場として子ども会の健全な発展と明るく住みやすい社会を創る事です。市原市内では以前17支部、47ブロックで200単位ほどの子ども会が登録されていました。

戸田支部は戸田小、寺谷小2ブロックで参加していない子ども会もありますが、10単位の子ども会が登録されていました。

戸田支部では寺谷ブロックだけになり、以前は9町会全てに有った子ども会も、今では支部を脱退したり、役員のなり手が無く子ども会を解散したりして、数単位しか登録されていません。

支部では単位子ども会行事への協力、子ども会リーダーの育成、市子連主催の行事、講習会への参加、子ども会活動における安全対策の強化などの活動を行っています。

具体的には全学年を集めてゲーム大会をやったり、年度末には5年生と新役員に参加していただき KYT(安全教育)の講習会を開き、5年生には最上級生としてのリーダーの自覚、育成者には行事における全体的な安全視野を広げていただきたいと思います。

遊びを通して寺谷の子ども達が明るく、元気に育ち、何時までもこの寺谷を愛せる様な大人になる事を願い支部活動を行っています。

市子連戸田支部：清水源男

コミバス「コスモス南総」からのお知らせ

地域の皆様には、私共の運営するコミュニティバス(コスモス南総)をご利用いただきありがとうございます。



当委員会では、これまで乗車回数券を販売し便利にご使用いただいていたまいりましたが、小湊鉄道㈱での路線バス乗車回数券の販売が令和3年6月末日で終了したことから、やむなく乗車回数券の販売を終了させていただきました。



回数券(イメージ)

これまで、寺谷小域福祉ネットワークを通じて各家庭に配布された経緯もございますので、**お持ちの乗車回数券**を確認下さるようお願いいたします。なお、お持ちの乗車回数券は**令和4年6月末日**までご使用出来ます。

また、未使用の乗車回数券は小湊鉄道㈱長南営業所(☎0475-46-3581)にて払戻ししてくれます。払戻手続きの詳細は令和3年7月7日発行のコミバスだよりに掲載いたしましたのでご確認ください。詳細については、各町会・自治会のコミュニティバス運営委員までお問い合わせください。

南総西コミュニティバス運営委員会

安心訪問員活動をご存知ですか？

寺谷小域福祉ネットワークでは、町会・自治会から選出された「安心生活見守り支援・訪問員養成講座」を修了した**安心訪問員**による高齢者などの見守り活動を行っています。

詳細については、「安心生活見守り支援・特別号」または「安心生活見守り活動の紹介」をご覧ください。

不明な点は、熊坂(小域会長)または鶴岡(安全安心支援班班長)にご連絡下さい。



編集後記

地域の皆さままいかがお過ごしでしょうか。今年も昨年に続き新型コロナ感染に因る自粛、自粛の状態でした。その為に学校の行事、地域の催し物、そして我々小域ネットワークの行事などもほとんどが中止となりました。

又、コロナに因る「DMAT」や「クラスター」などと言う普段聞きなれない言葉が新聞やテレビで報道されました。

10月末になり自粛が解除され、普段の生活に戻りましたが油断するとまた自粛状態になりかねないと思います。自粛状態に戻らない為にも3密を避け、手洗い、うがい、マスクの着用を徹底して寺谷地区から感染者が出ない様に意識を高めて頂きたいと思います。

広報紙編集班：清水 源男